

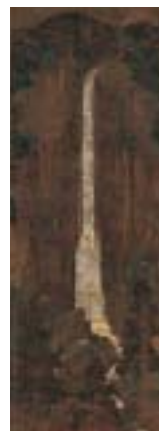
# 根津美術館 新創記念特別展スケジュール

2009年10月7日(水) — 2010年9月26日(日)

## 第1部 新・根津美術館展 — 国宝那智瀧図と自然の造形

2009年10月7日(水) — 11月8日(日)

優れた美術作品と豊かな自然をともに楽しめる美的空間、根津美術館が3年半ぶりに開館します。新創記念特別展、第1部は、新しい根津で出会う自然をテーマに、聖地としての自然を描いた国宝「<sup>なちのたきず</sup>那智瀧図」はじめ、理想郷としての自然を描いた水墨画や近世の華やかな花鳥画など、自然をモチーフにした絵画・工芸の名品を公開します。



<sup>なちのたきず</sup>  
国宝 那智瀧図  
一幅 絹本着色  
日本・鎌倉時代

## 第2部 <sup>せいざん</sup>根津青山の茶の湯 — 初代根津嘉一郎の人と茶と道具

2009年11月18日(水) — 12月23日(水)

青山と号した初代根津嘉一郎は、東洋の美術品を収集するのみならず、それらを用いて、多くの友人たちとともに鑑賞し、楽しみました。南青山の茶室で、軽井沢の茶室で、折々に機会を設けては、日常的で楽しい茶の湯を提唱した根津青山の、茶の湯への想いをたどります。



重要文化財 <sup>あおいどちやわん</sup>青井戸茶碗 <sup>めいしばた</sup>銘柴田 一口  
韓国・朝鮮時代

## 第3部 陶磁器ふたつの愉楽 — 観るやきもの・使ううつわ

2010年1月9日(土) — 2月28日(日)

やきものを観る、そして手にとって使う楽しみは、茶の湯の世界でながく培われてきました。しかし、今日のやきものは、鑑賞陶磁として観るものと、道具として使うものに二分されてしまったようです。「観る」ことを堪能するだけでなく、それをどのように「使う」かを考える楽しさ——そんな愉楽の時間をどうぞ!



<sup>びぜんすはまがたはち</sup>備前州浜形鉢 一口  
日本・桃山時代

## 第4部 胸中の山水・魂の書 — 山水画の名品と禅林の墨蹟

2010年3月13日(土) — 4月18日(日)

墨の濃淡と巧みな筆さばきで表された山水画は、画家の胸中の風景というべきもの。一方、墨蹟は、厳しい修行に裏打ちされた禅僧たちの精神の書といえます。墨に託した画家のこころや禅僧の精神にじかに触れることができる絶好の機会です。じっくりと味わってください。



重要文化財 <sup>さいすいず</sup>山水図  
<sup>けんこうしやうけい</sup>賢江祥啓筆 一幅  
紙本墨画淡彩  
日本・室町時代

第5部 国宝燕子花図屏風—琳派コレクション—挙公開  
2010年4月24日(土) — 5月23日(日)

「<sup>かきつばたず</sup>燕子花図屏風」が、4年ぶりに根津美術館の初夏を彩ります。尾形光琳の代表作にして、根津美術館を象徴する「燕子花図」を中心に、桃山から江戸時代に制作された琳派作品を展示します。平明、優美で力強い琳派作品の優品とともに、庭園に咲く燕子花もお楽しみください。



<sup>かきつばたず</sup> 燕子花図 <sup>おがたこうりん</sup> 尾形光琳筆  
国宝 六曲一双 紙本金地着色  
日本・江戸時代

第6部 能面の心・装束の華—物語をうつす姿  
2010年6月5日(土) — 7月4日(日)

登場人物の心の機微をあらわす<sup>おもて</sup>面の繊細な表情。高貴な女性の華やかさや武家の武勇を演出する華麗な装束。能のドラマは、このふたつがかたちづくる姿によって語られてゆきます。源氏物語「葵上」をはじめ、愛、哀しみそして悟りをテーマとした演目にふさわしい能面と能装束の名品、またその取り合わせをご覧にいられます。



<sup>べにうすはなだだんかごめあきくさもんようからおり</sup>  
紅薄縹段籠目秋草文様唐織  
一領  
日本・江戸時代

第7部 いのりのかたち—八十一尊曼荼羅と仏教美術の名品  
2010年7月10日(土) — 8月8日(日)

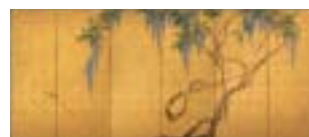
温和な表情をたたえる如来、怒りをあらわす<sup>いぎょう</sup>異形の明王、そして幾何学的な構図の中に描かれた密教のマンダラ。根津美術館のコレクションの重要な柱のひとつである宗教美術のジャンルから選りすぐった韓国の高麗仏画、日本の平安・鎌倉時代の仏画や仏像の優品を一堂に展示します。



<sup>こうごうかいほちじゅういっせんまんだら</sup>  
重要文化財 金剛界八十一尊曼荼羅  
一幅 絹本着色  
日本・鎌倉時代

第8部 コレクションを未来へ—根津嘉一郎収集品と寄贈作品  
2010年8月21日(土) — 9月26日(日)

根津美術館のコレクションは、創立者初代根津嘉一郎の収集品を核に、折々に、多くの方々からご寄贈いただいた作品を加え、さらに充実しています。本展は、コレクション形成の過程をテーマに、各ジャンルにわたる嘉一郎の収集品と、寄贈作品の中から名品を選りすぐって展示します。



<sup>ふじはなず</sup> 藤花図 <sup>まるやまおうきよ</sup> 円山応挙筆  
重要文化財 六曲一双 紙本金地着色  
日本・江戸時代 安永5年(1776)